

浜岡原子力発電所 4号機 原子炉建屋内における放射性物質を含まない  
水の漏えいについて

2017年7月14日

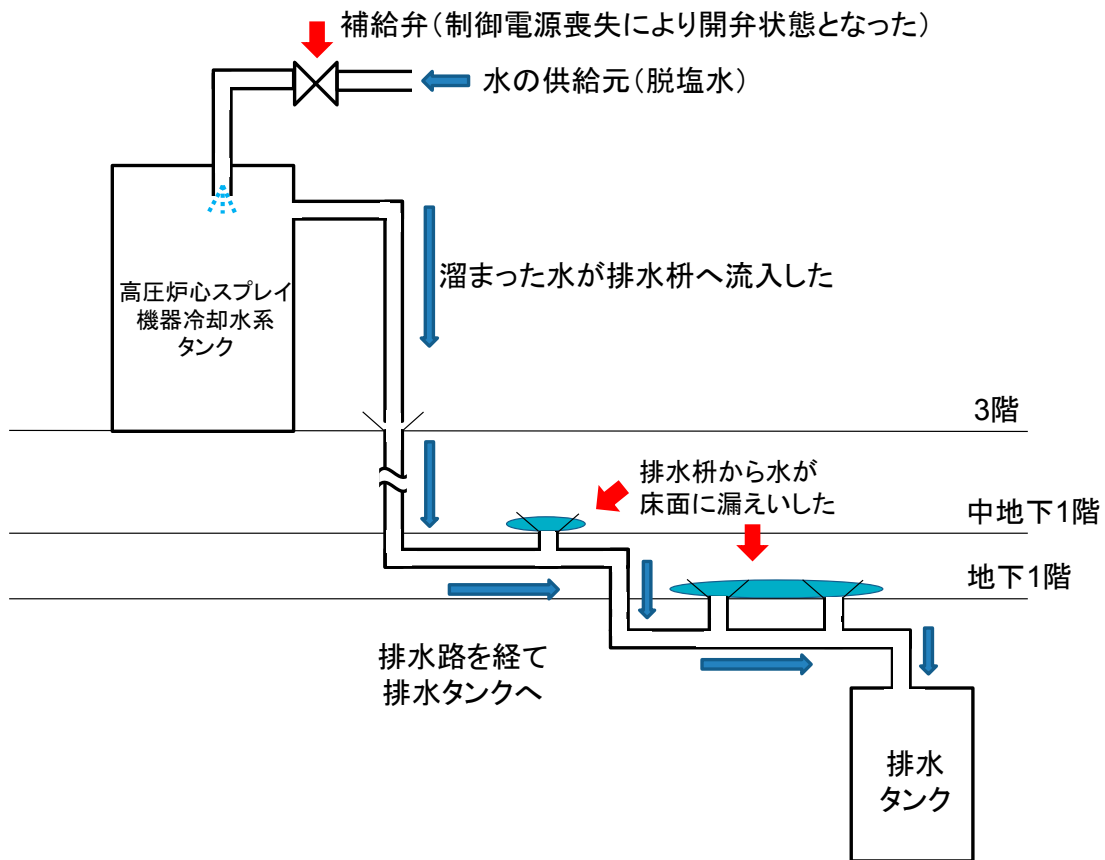
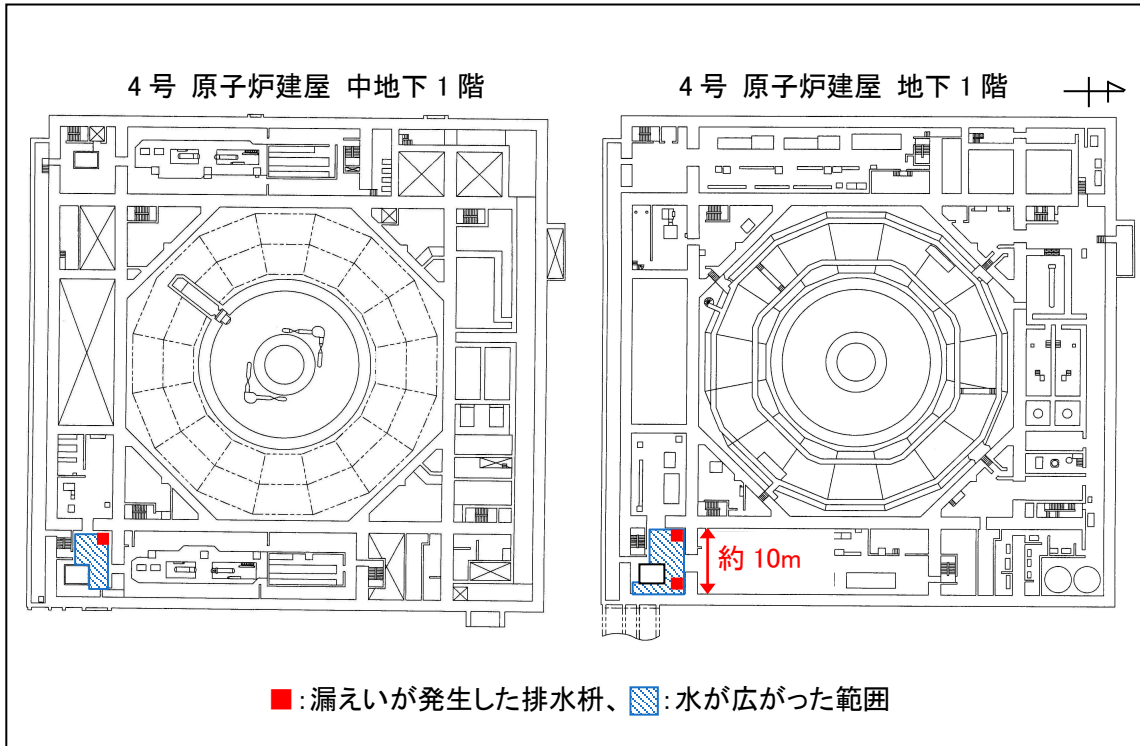
発生場所	4号機（施設定期検査中） 原子炉建屋 地下1階および中地下1階 南東階段室付近（放射線管理区域外）
発生日月	2017年7月14日
状況	<p>2017年7月14日、原子炉建屋地下1階の漏えいを示す警報が点灯したため当社社員が現場の確認をおこなったところ、午前8時19分に原子炉建屋地下1階および中地下1階の階段室付近で漏えいが発生していることを確認しました。漏えい量は約2m<sup>3</sup>であり、漏えいした水のふき取りは完了しています。</p> <p>漏えいした水は脱塩水（注1）であり、原子炉建屋3階に設置している高圧炉心スプレイ機器冷却水系（注2）のタンクの水が排水配管に流れ込み、地下1階および中地下1階の排水枡から漏えいしたものと推定しています。</p> <p>詳細原因は調査中ですが、午前7時59分に発生した愛岐幹線への落雷による瞬時電圧低下の影響により、高圧炉心スプレイ機器冷却水系タンクの補給弁が開き、タンクに水が補給され続けたことを確認しています。今後、原因を調査し、適切に対応してまいります。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
<a href="#">お知らせ基準</a>	運転情報「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき（但し、100 リットル程度に至らない漏えいを除く。）」に該当します。

なお、このほか、愛岐幹線への落雷による瞬時電圧低下により、4号機に以下の影響がありました。また、4号機以外については、瞬時電圧低下による警報の点灯などがありましたが、プラントへの影響はありませんでした。

- ・非常用ディーゼル発電機が正常に自動起動しました。
- ・燃料プール冷却浄化系が停止しましたが、ただちに当社社員が状態を確認し復旧しました（停止：午前7時59分、復旧：午前8時11分）。なお、燃料プール水温度の上昇はありませんでした。

愛岐幹線への落雷による瞬時電圧低下については[当社プレスリリース](#)をご確認ください。

- 注1 脱塩水は、新野川の伏流水を脱塩処理したものであり、放射能を含んでいません。  
注2 高圧炉心スプレイ機器冷却水系は、事故時に炉心の冷却をおこなう高圧炉心スプレイ系の冷却をおこなう系統です。



以上